

北九州市民の会ニュース

コロナから雇用と営業を守る メーデー100年 ネットで配信



日本初のメーデーから100年の伝統を受け継ぎ、新型コロナウイルス感染拡大から雇用と営業を守ろうと1日、第91回メーデーが開かれました。感染防止のため、中央メーデー式典はインターネットで動画配信。全国の職場・地域で画像や動画によるメッセージ発信でメーデーに参加しました。

中央メーデー実行委員会の小田川義和代表委員（全労連議長）が主催者あいさつ。動画メッセージで日本共産党の志位和夫委員長は、「思想・信条の違いを超えて感染爆発と医療崩壊を止め、命と暮らしを守り抜くために力をあわせよう」と強調しました。

各団体決意表明で、「医療現場への緊急支援と、普段からゆとりある人員配置の医療・介護の制度改善を」（東京医労連）、「最低賃金の1500円、全国一律制は生活を守るだけでなく、地域経済を復活させていく要の政策だ」（東京・新宿区労連）と訴えました。

メーデー宣言では、安倍政権に対し消費税減税、軍事費削減などを求め、大企業にも内部留保還元を要求。「すべての国民に社会不安を解消する『自粛と補償』一体の緊急コロナウイルス対策を求めていく」としました。

コロナに乗じた改憲許さない 平和と命、人権守れ

ネットで憲法集会 全国に発信

日本国憲法の施行から73年を迎えた3日、「憲法にもとづき命と暮らしを守れ。コロナ禍に乗じた安倍改憲は許されない」と各地でスタンディングやSNSなどを使っ



てアピールしました。「許すな！安倍改憲発議！平和と命と人権を！5・3憲法集会2020」は、国会前で市民らによるスピーチをインターネットで発信する形で開かれました。実行委員会が主催し、総がかり行動実行委員会と「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」が共催しました。

憲法施行73周年にあたって 小池晃氏が談話

一、今年の憲法記念日は、新型コロナウイルス感染拡大が、国民の命と健康を脅かすとともに、あらゆる社会・経済活動を大きく抑制する、きびしい状況の中で迎えている。国民がかつて経験したことがない苦難に直面しているときだからこそ、憲法の理念を生かす政治に転換することが強く求められている。



外出自粛や休業要請と一体の補償を行うことをはじめ、国民の生活を支え、事業の継続を支えるために力を尽くさなければならない。それは感染拡大を防止する政治の責任であるとともに、個人の尊重と幸福追求の権利（13条）、生存権（25条）と財産権（29条）など、憲法が保障している国民の権利を実現する政治の責任である。

一、許しがたいのは安倍首相が、「新型コロナウイルスへの対応も踏まえつつ、国会の憲法審査会で議論を期待したい」などと自らの改憲策動にコロナウイルス問題を利用しようとしていることである。「憲法に緊急事態条項を」などという議論は、感染拡大防止につながるどころか、逆に政府の行う「対策・政策」への異論・批判を封殺し、政権の意のままに政治をあやつる体制をつくろうというものに他ならない。こうした体制では、幅広い専門家の知見を結集することも、国民の自発

平和と暮らしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail: koe@siminnokai.com

的な協力を得ることもできない。

国民には「団結」を説きながら、国民多数が反対している改憲問題を、この時期に持ち出すのは自己矛盾であり、究極の「火事場泥棒」とも言うべき暴挙である。

一、日本共産党は、新型コロナウイルスから国民の命とくらしを守るために、国民のみなさんと手をとりあって全力をあげる。憲法9条改憲をゆるさず、平和と民主主義、基本的人権を擁護するために、広範な市民、野党と協力・共同を広げ、憲法の理念を生かす政治を実現するために奮闘する決意である。

核兵器より命を 平和大行進 オンラインで出発式

コロナ禍のなか8月6日(広島)、9日(長崎)の原水爆禁止世界大会に向け、2020年原水爆禁止国民平和大行進は6日、東京一広島コースの出発式をオンラインで行いました。アメリカやフィリピンの青年を含め約100人が参加しました。主催は同中央実行委員会です。



オンラインで原水爆禁止世界大会 8月2、6、9日 人類・地球のため

8月に「被爆者とともに核兵器のない平和で公正な世界を一人類と地球の未来のために」をテーマに「被爆75年 原水爆禁止2020年世界大会(オンライン)」を開催します。8日、オンラインで開いた原水爆禁止世界大会実行委員会総会で決めました。国際会議(2日)、広島デー大会(6日)、長崎デー大会(9日)を開催します。

原水爆禁止日本協議会(日本原水協)の安井正和事務局長は、世界大会の意義と課題について、▽人類と地球の未来のために一原水爆禁止運動の役割を果たす▽「核兵器のない平和で公正な世界」実現の展望を開く▽被爆国日本の運動の決意を示すーの3点を掲げ、幅広い参加で成功した「オンライン世界大会ニューヨーク」を引き継ぐ世界大会にすることを呼びかけました。

同実行委員会の高草木博共同代表が、世界大会のテーマや名称、プログラムなどを説明。地球の自転に合わせて世界をまわる草の根の共同行動「平和の波」について、広島に原爆が投下された8月6日午前8時15分の黙と

うを起点に、長崎に原爆投下された9日の午前11時2分の黙とうを集結として提案しました。

世界大会の支持・賛同と成功に向けて、ヒバクシャ国際署名を大きく広げ、日本政府に対し核兵器禁止条約の調印・批准を求める自治体意見書採択などの運動を広げることを呼びかけました。

日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)、日本山妙法寺、日本青年団協議会が連帯のメッセージを寄せました。

【事務局長だより】

みなさん、お元気ですか、大丈夫ですか。コロナ禍で気分がはれませんか。

市民運動も、すべて中止に追い込まれています。「高齢者福祉乗車券」の実施を求める署名活動も、当初大変な反響でしたが、すっかり足が止まってしまいました。市民の会としては、5月20日(水)10:00に事務局会議を持ち、5月30日(土)に予定されています最終署名集約に関して検討いたします。おそらく、各区でこれまで集められた署名の原本をもちよりご相談させていただくことになりかと思えます。20日の事務局会議を受けてご連絡させていただきます。どうか無理をせずご活動ください。

今年のメーデーで喜寿になりました。元気いっぱいです。野球は現役。90歳でランニングホームラン!

そのメーデーの日に、健和看護学院から突然の電話。

学院「講義は、ZOOMミーティングでやります!」

三輪「ええ、ほんまかいな」

要するに、写真のように、学生さんは、私の講義も自宅でPCかスマホで受けることになります。その講義が5月11日から始まります。今学院の先生方は、開講に備え、全員必死で取り組んでおられます。その姿を見て感動しました。健和会ははじめ医療関係者の皆さまに心から感謝します。そして、頑張れ健和看護学院! みなさまも、どうぞご支援ください。

